

縄文の女神と若鮎の里
Funagata



特集

農が守る食、食が支える100年の健康、
未来につなぐ舟形の文化
～第3次舟形町食育・地産地消推進計画を策定～

5月15日 縄文の女神レッドライトアッププロジェクト (西ノ前遺跡公園「女神の郷」)

MAY 2026
VOL.807

5

Public Relations Funagata

農が守る食、食が支える100年の健康、 未来につなぐ舟形の文化

町内の食卓から
～栄養満点 朝ごはん～



うるいの浅漬け



わらびのおひたし



うどんの煮物



旬のカド焼き(にしん)



自家産ねぎ入り卵焼き



炊きたてのつや姫ごはん



とれたてのたけのこを使った孟宗汁

～第3次舟形町食育・地産地消推進計画を策定～

「食」は、単に空腹を満たし、栄養をとるためのものではありません。命を育み、心を育み、人と人、人と地域を繋ぐ大切な営みであり、健康の源です。

町では、「第7次舟形町総合発展計画」の中で「いつまでも元気で笑顔が溢れるまち」「地域の魅力・活力を生み出すまち」を目標のひとつに掲げ、まちづくりを進めています。子どもから高齢者まで、すべての世代が健やかに暮らせる社会の実現を目指し、関係機関が連携して食育の推進と地産地消の拡大に取組み、地域全体の健康増進と持続可能な食の循環を築くため、「第3次舟形町食育・地産地消推進計画」を策定しました。

▼問い合わせ▼
舟形町食育・地産地消推進委員会
事務局（舟形町農業振興課
新規就農・女性活躍支援室内）
☎0947-320947

※詳しくはこちら
0411-2450



縄文の女神と若鮎の里

[広報ふながた] Public Relations Funagata

MAY 2026
VOL.807

5

contents

- P3 農が守る食、食が支える100年の健康、未来につなぐ舟形の文化
～第3次舟形町食育・地産地消推進計画を策定～
- P8 令和7年度消防関係功労表彰
- P10 ふなトビ
- P12 まちかど掲示板
- P13 町職員のうごき
- P14 新刊書の紹介、舟形文芸ひろば
- P15 農と食と健康と、舟形まんぷく物語、カメラアングル
- P16 山形ふるさとCM大賞アイデア募集



表紙の紹介

5月1日から西ノ前遺跡公園「女神の郷」で、縄文の女神レッドライトアッププロジェクトが行われています。このプロジェクトは、5月の赤十字運動月間と世界赤十字デーにあわせて、赤十字活動への理解を深めるきっかけとして、ランドマークなどをライトアップする取組みです。町内でのライトアップは今回が初めてとなり、5月31日まで行われる予定です。

大切なこと



今、世界は、力による現状変更や強権的な指導者の台頭により、平和の均衡が崩れつつあります。世界中が戦争の危機にさらされる今、101歳で亡くなるまで反戦を訴え続けたジャーナリストの故郷のたけじ氏の言葉、今の日本には「戦争のにおいがふんぷんする」を思い出します。

高市政権下で憲法改正が叫ばれ、4月には武器輸出の全面解禁という戦後政策の大転換が断行されました。強い経済の旗の下、軍事産業を「防衛産業」と言い換え、殺傷能力のある兵器を海外へ輸出する道を選んでしまいました。

かつて自民党の故宮澤喜一氏が「兵器の輸出で金を稼ぐほど落ちぶれてはいない」と断じた日本の矜持は、引き継がれなかったのでしょうか。同

じく父が戦死した古賀誠氏は、憲法9条を「世界遺産」と呼び、戦後80年近く他国の人を1人も殺さず、殺されもしなかったという、人類が到達したひとつの理想の形であると。強権主義が世界を覆いつくそうとする今こそ、日本だけは「戦争をしない」という不戦の誓いを守り抜かなければならない。憲法9条は、日本を守るための「盾」であると同時に、世界に平和を広めるための「光」でもあります。武器を売って強い経済を目指すのではなく、憲法9条の精神を世界に広め、全世界の国が不戦の条文を制定する日を夢見ること。それこそが、今、日本が世界に誇るべき真の姿であり、進む道ではないのでしょうか。

森 富広



第2次計画を振り返り、未来を考える

ニラのほ場（福寿野地内）

食育・地産地消を推進するために

令和3年3月に策定された第2次舟形町食育・地産地消推進計画では、「舟形の豊かな恵みで心とからだを育む健康づくり」をスローガンに食育・地産地消を推進してきました。その結果、関係団体、関係機関の協力のもと、小・中学校における食農教育や町内農業者が食材を提供する仕組みの構築、学校給食における地産地消の推進や農家の顔の見える学校給食の実現、さらに、舟形の食材から愛郷心を育むための「日本一のおいしい給食食育推進事業」の実施に繋がり、食と農への関心は高まりつつあります。



「日本一のおいしい給食食育推進事業」では給食をとおりて郷土愛を育む食育に取り組んでいます。

【図1】家族揃っての食事（共食）



「共食」には、コミュニケーションが増える、規則正しい食事に繋がる、食への関心が高まるなど、さまざまなメリットがあります。

変化する食生活と新たな課題

近年、私たちの食生活は、家族揃っての「共食」から大きく変化しています。核家族化や食の多様化、ライフスタイルの変化などが進む一方で、多くの課題が顕在化しています。【図1】町が実施した「食」と「農」を巡る現状に関するアンケートの結果によると、朝食摂取率は、小学生は83.1%、中学生は78.8%であり、約20%の児童・生徒が朝食を欠食しています。その理由として、「食欲がない」「おなかがすかない」が多く、生活リズムの乱れなどが懸念されています。【グラフ1】

これまでの結果と未来への目標

アンケート結果から課題が見える一方で、改善された点もあります。令和7年度の生活習慣病予防のための食事や運動を実践している方の割合は、令和2年度と比較して約15%増となりました。【グラフ3】

さらに、令和7年度の給食における県産農産物の割合は、令和2年度より約5%増となりました。【グラフ4】

第3次舟形町食育・地産地消推進計画では、課題と改善点を踏まえ、顔の見える「農業」で食を支え、「食」が健康を支え、そして「健康」で生き生きとした生活がずっと続くことを目指していきます。

生産者と消費者の双方が、改めて食や農に対する理解を深め、食卓と生産現場の距離を縮め、それぞれの立場で連携して食育・地産地消に取り組むことが、健康で笑顔があふれる町づくりに繋がると考えています。

バランスのとれた食事をしよう

また、食事のバランスに関する課題があることも分かりました。家庭で主食・主菜・副菜・汁物を基本としたバランスのとれた食事をしている方の割合は、小・中学生は60.2%、20歳以上は77.1%でした。【グラフ2】

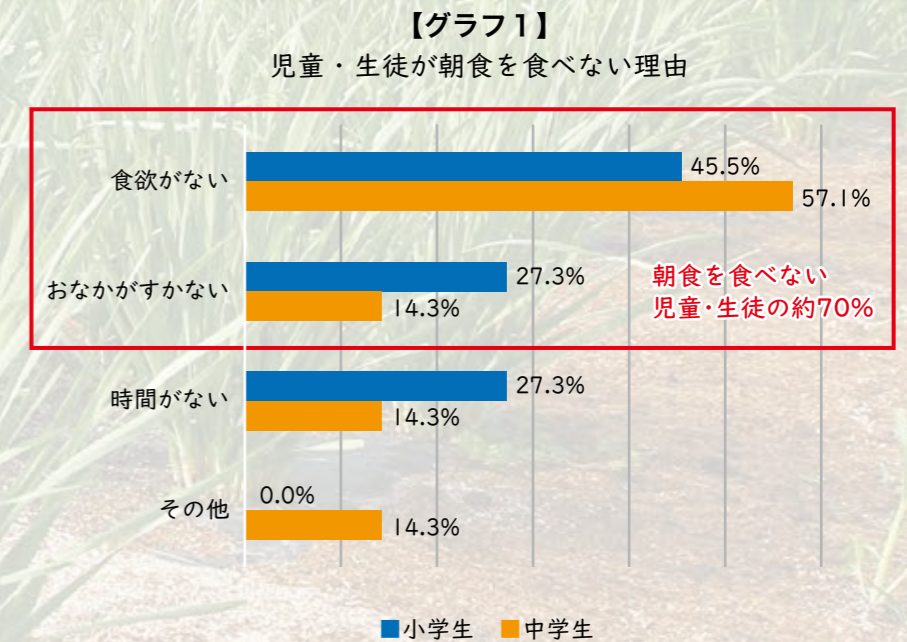
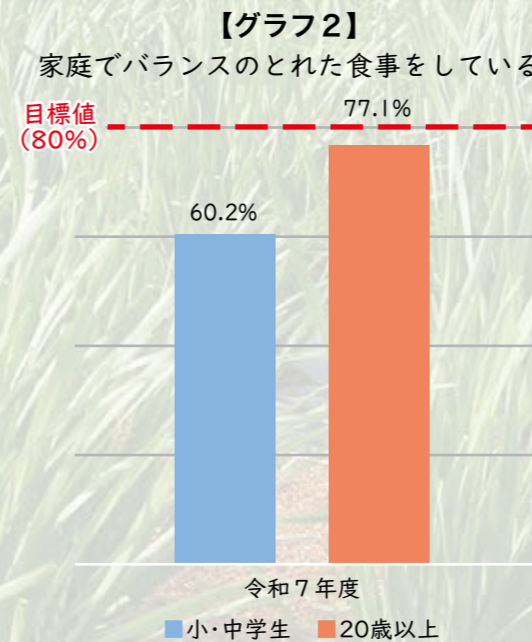
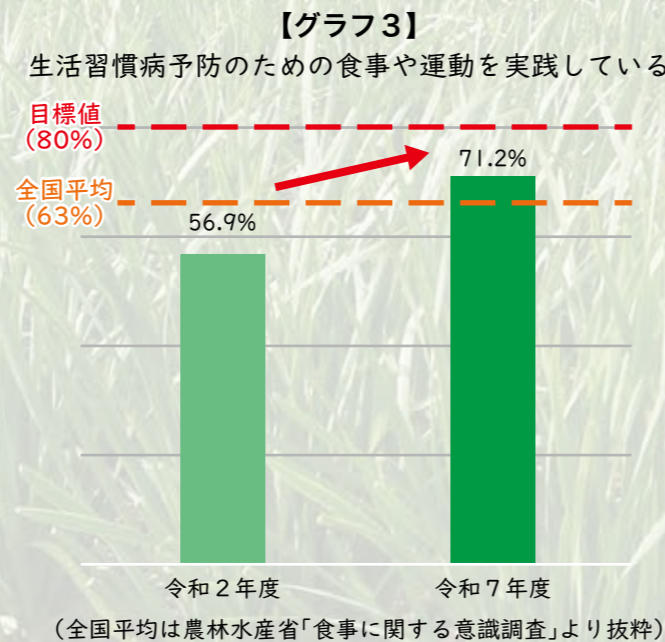
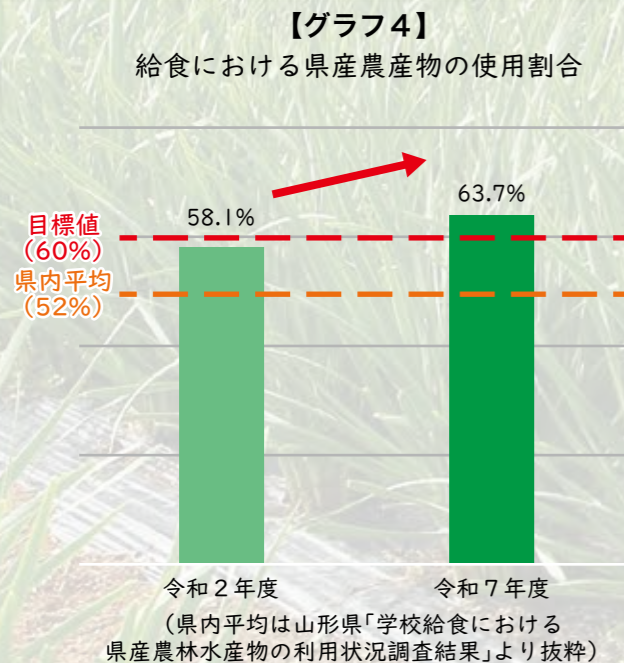
バランスのとれた食事は「体を動かす、つくる、整える」ことができ、元気で病気になりにくい体に繋がります。【図2】

【図2】バランスのとれた食事の例



「食」と「農」を巡る現状に関するアンケート調査結果

(令和7年7月実施、有効回答総数547件)



食育・地産地消の2つの柱

計画で掲げる2つの柱と主な取組みについて、食育・地産地消推進委員のみなさんから話を聞きました。

①健康で豊かな心身をつくるための食育の推進



舟形町食生活改善推進協議会
会長 沼澤 広子さん

減塩・適塩の意識と「共食」で元気に

舟形町食生活改善推進協議会では、食を中心とした高齢者の健康づくり活動としてのシニアカフェや男性の料理教室、親子食育教室などを開催しています。地域の方のお話では、塩分が多い食生活になりがちで、高血圧で通院する方も多くいるようです。減塩・適塩を意識してもらうため、計量スプーンの配布など減塩運動に取組んでいます。また、食事を誰かといっしょにとる「共食」も推進しています。減塩運動やシニアカフェなどをとおして大人の食育を進めて、年齢を重ねても元気に過ごせる地域を目指していきます。



舟形中学校PTA母親委員会
委員長 遠藤 恵さん

「食」への感謝と健やかな成長への願いを

母親委員会では食育・地産地消の取組みとして、保育園と小・中学校で「お弁当の日」を行なっています。この取組みは、子どもが地元の食材を使った弁当づくりを体験することで、普段の給食や家庭での食事への感謝の気持ちが育まれてほしいという思いが込められています。親子や家族でいっしょに食材に触れることで、子どもも大人も地域の食材に関心を持つことができると思います。普段から食べているものに興味を持ち、感謝することで、子どもの健やかな成長に繋がることが願っています。



舟形小学校
栄養教諭 菊地 美香さん

心に残る「食」と「農」の体験を

舟形小学校では食育・地産地消の取組みとして、旬の地場産品を使用した給食の献立や生産者との交流給食などを行なっています。中でも、大豆の定植からみそづくり・豆腐づくりの体験は、原料から製品に変わるまでの過程を体験することができ、「百聞は一見に如かず」という言葉があるとおり、勉強だけでは得られない貴重な体験になっていると思います。食事は、単に空腹を満たす手段ではなく、心身の健康にも繋がる大切なものです。心に残る体験や給食で、児童の食に対する意識を高めていきたいです。

体験をとおして「食」と「農」に親しめるように

私たちは学校給食などで食育・地産地消の取組みに関わっています。令和7年6月には、舟形小・中学校の給食に手づくりの笹巻を提供しました。郷土料理を家庭で食べる機会が減っているため、地元の伝統的な料理を子どもが体験する機会があることをうれしく思います。また、生産者として、プランターなどで植物を育てる体験をしてほしいと思っています。体験をとおして食べるものへの愛情がわき、家族の会話が弾むと思います。ぜひ、農産物を商品として買うだけでなく、育てる体験をしてほしいです。

「食」を大切にすきっかけづくり

舟形ほほえみ保育園では、じやがいもなど野菜の定植と収穫を行い、その野菜を給食やカレーッキングに使うなど、自分で育てたものを食べる、調理するという体験を大切にしています。園児の中には、自分で育てたことで苦手だった野菜に愛着がわき、食べられるようになる園児もいました。こうした体験から園児が食に関心を持つことで、保護者など大人の食育にも繋がることを願っています。また、体験から「食べる力」に繋がりが、さらなる食育・地産地消や食品ロスの防止に繋がってほしいです。

地域の野菜を家庭に届けたい

産直まんさくでは、町内産の米や野菜を中心に幅広い品揃えでみなさんをお待ちしています。毎月開催する「まんさくの市」や旬の食材などをお知らせする「まんさくだより」、インスタグラムでの発信などとおして、地域の方に地元の野菜を買ってもらえるような取組みを続けています。これからはさらに商品充実させるとともに、旬の野菜をおいしく健康に食べることでできるレシピの紹介にも取り組みたいです。町内産の農産物を老若男女問わず多くの方に食べてもらうために、これからもがんばります。

②「食」と「農」を大切にすきっかけづくり



舟形ベジタブルNo.1
代表 佐藤あや子さん



舟形ほほえみ保育園
栄養士 沼澤 由美さん




産直まんさく
店長 奥山ふみ子さん

令和7年度消防関係功勞表彰

全国統一防火標語

「火の確認 いい日を支える いい習慣」

4月26日、春季消防演習が開催され、地域の安全や消防団の活性化、予防消防などに尽力した消防団員のみなさんが次のとおり表彰されました。



火の用心

○優良分団
第5分団

○優良部
第3分団第22部

第1分団第10部	大場 清
第2分団第2部	大場 広志
第3分団第6部	佐藤 雄二
第3分団第6部	曾根田 大介
第4分団第19部	佐藤 貴徳
第5分団第11部	木村 和則
第5分団第11部	平賀 大作
第6分団第12部	矢口 就翔
第7分団第13部	荒澤 光
○永年勤続表彰(30年)	
第3分団分団長	伊藤 紀幸
第7分団副分団長	阿部 清美
第2分団第3部	長澤 憲一
第3分団第21部	佐藤 隆洋
第5分団第8部	曾根田 和孝
第5分団第8部	豊岡 将志
第5分団第8部	星川 治男
第5分団第8部	鈴木 健一
第5分団第9部	加藤 憲司
第5分団第11部	佐藤 智章

6. 町長表彰

○優良団員

第1分団第10部	大場 清
第2分団第2部	大場 広志
第3分団第6部	佐藤 雄二
第3分団第6部	曾根田 大介
第4分団第19部	佐藤 貴徳
第5分団第11部	木村 和則
第5分団第11部	平賀 大作
第6分団第12部	矢口 就翔
第7分団第13部	荒澤 光

大場 清	大場 広志	佐藤 雄二	曾根田 大介	佐藤 貴徳	木村 和則	平賀 大作	矢口 就翔	荒澤 光	伊藤 紀幸	阿部 清美	長澤 憲一	佐藤 隆洋	曾根田 和孝	豊岡 将志	星川 治男	鈴木 健一	加藤 憲司	佐藤 智章
------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------

7. 団長表彰

○優良分団

第5分団


○優良部

第3分団第22部

世界で活躍する舟形町消防団の 小型動力ポンプ付消防積載車 (ポンプ積載車)

町では、町内での活躍を終えたポンプ積載車を、(公財)日本消防協会の消防車両等国際援助事業を活用し、車両を必要とする国に寄贈しています。

令和7年1月には、第2分団第17部で使用されていたポンプ積載車がベトナムへ寄贈され、寄贈先のフナイエン省から町へ令和8年4月に感謝状が送られました。




第1分団第10部	伊藤 英一
○永年勤続功勞章	
第1分団第10部	伊藤 秀樹
第1分団第16部	伊藤 和彦
第2分団第2部	大場 健一
第3分団第6部	土田 篤
第4分団第18部	伊藤 学
第5分団第8部	叶内 寛幸
第5分団第11部	井上 紘
第5分団第11部	齊藤 伸也
第5分団第11部	田中 真人
第5分団第11部	逸見 秀明
第7分団第14部	森 祐樹
○金条章	
第2分団第2部	早坂 健吾
○特別功勞章	
第5分団分団長	八坂 良則
第4分団副分団長	八坂 敏次
第2分団第2部	大場 敏次
○功勞章	
第1分団副分団長	八坂 政幸
第1分団第16部	八坂 祐
第2分団第2部	齊藤 敦
第5分団第9部	曾根田 健
○功績章	
第2分団副分団長	阿部 真
第1分団第16部	八坂 幸仁
第3分団第6部	枝松 功一
第3分団第6部	沼澤 功一

1. 消防庁長官表彰

○永年勤続功勞章

○永年勤続退団者

第1分団第10部	伊藤 英一
第1分団第10部	伊藤 秀樹
第1分団第16部	伊藤 和彦
第2分団第2部	大場 健一
第3分団第6部	土田 篤
第4分団第18部	伊藤 学
第5分団第8部	叶内 寛幸
第5分団第11部	井上 紘
第5分団第11部	齊藤 伸也
第5分団第11部	田中 真人
第5分団第11部	逸見 秀明
第7分団第14部	森 祐樹

2. 山形県知事表彰

○金条章

○特別功勞章

○功勞章

第2分団第2部	早坂 健吾
第5分団分団長	八坂 良則
第4分団副分団長	八坂 敏次
第2分団第2部	大場 敏次
○功勞章	
第1分団副分団長	八坂 政幸
第1分団第16部	八坂 祐
第2分団第2部	齊藤 敦
第5分団第9部	曾根田 健
○功績章	
第2分団副分団長	阿部 真
第1分団第16部	八坂 幸仁
第3分団第6部	枝松 功一
第3分団第6部	沼澤 功一

3. 日本消防協会会長表彰

○功績章

○精進章

○永年勤続表彰(30年)

第5分団副分団長	岸 新太郎
第1分団分団長	伊藤 紀幸
第3分団分団長	伊藤 紀幸
○功績章	
第6分団副分団長	加藤 勝一
第1分団第10部	齋藤 雅博
第2分団第2部	大場 健一
第2分団第2部	齋藤 敦
第2分団第3部	齋藤 賢
第4分団第7部	松本 正人
第4分団第19部	遠藤 寛
第7分団第13部	芳賀 真一

4. 山形県消防協会会長表彰

○永年勤続表彰(30年)

第3分団分団長	伊藤 紀幸
第7分団副分団長	阿部 清美
第2分団第3部	長澤 憲一
第3分団第21部	佐藤 隆洋
第5分団第8部	曾根田 和孝
第5分団第8部	豊岡 将志
第5分団第8部	星川 治男
第5分団第8部	鈴木 健一
第5分団第9部	加藤 憲司
第5分団第11部	佐藤 智章

5. 消防協会最上支部長表彰

○銀条章

○優功章

○精進章

第5分団第9部	阿部 真
第2分団副分団長	八坂 崇
第4分団第7部	伊藤 雄
第4分団第18部	門脇 崇宏
第6分団第15部	二戸 広平
第5分団副分団長	高橋 修
第2分団第2部	鈴木 良幸
第3分団第4部	鈴木 良幸
第6分団第12部	齊藤 雄一
第7分団第13部	小野 善仁

消防団の仲間を募集します

- 地域の安全を守る仲間になりませんか
- 報酬/消防団活動に対して報酬が支給されます。
 - 補償制度/消防団在籍中に、死亡・負傷などした場合、療養補償や休業補償などの補償制度があります。
 - 退職報償制度/階級および在団年数に応じて退団年度に退職報償金が支給されます。

予備消防団員を募集します

- お住いの地区で消防力を生かしませんか
- 加入条件/原則、舟形町消防団を退団された方
 - 活動範囲/お住いの地区(他地区での活動、演習などには不参加)
 - 活動内容/①火災の予防・発見・通報、②消防本部または消防団が来るまでの初期消火
 - 報酬・退職報償制度/なし
 - 補償制度/活動中に死亡・負傷(入院)された場合に適応する補償制度があります。
 - その他/予備消防団専用ヘルメットを貸与します。

▼問い合わせ/舟形町住民税務課危機管理室 ☎(32)0155
※消防団への入団は危機管理室または各消防団

野焼きは原則禁止!!

今年に入ってから、県内では野焼きによる火災が38件発生しています。

枯草や剪定枝などの焼却中、周囲に延焼して火災となったケースが多発しています。火の扱いには十分注意しましょう。

- 強風時および乾燥時には、たき火、野焼きなどをしない。
- 枯れ草などのある火災が起りやすい場所では、たき火をしない。
- たき火など火気の使用中は、その場を離れず、使用後は完全に消火する。

第70回山形県縦断 駅伝競走大会



4月27日から29日、第70回山形県縦断駅伝競走大会が開催されました。28日、新庄市役所を出発した新庄・最上チームは、力強い走りで行舟中継所を5位通過。中継所の周囲には、応援に駆け付けたみなさんの歓声が響いていました。舟形中3年の石山翔環さん（富田第1）が米沢く上郷間を、町教育課の山口大陽さんが湯野浜く大山間と上山く山形間を走り抜き、チームに貢献しました。石山選手は、「前回より成長できた」と実感できる走りがありました。来年も出場できるよう精一杯がんばります」と話していました。

ゴールデンウィークの 舟形若あゆ温泉



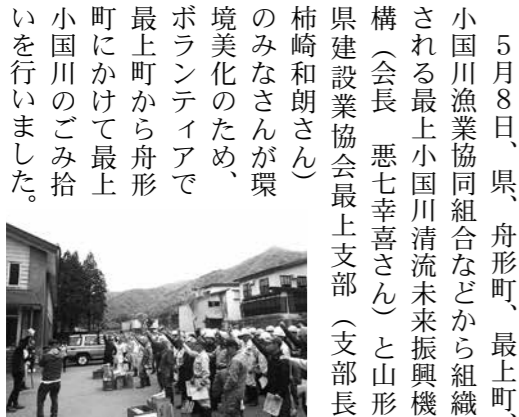
4月29日と5月2日から6日までの間、舟形若あゆ温泉で焼き鮎などの店頭販売が行われました。ゴールデンウィークにあわせて鮎の塩焼きや鮎ごはんなどが販売され、この期間の来客数は4,600人を超えました。また、5日にはこどもの日にあわせた特別メニューの「わくわくおこさまランチ」が提供されるなど、行楽シーズンを楽しむ方々にぎわいました。舟形若あゆ温泉では、鏡開きとおしるこのふるまい、みずき団子飾り、期間限定スイーツの販売など、季節にあわせたさまざまなイベントを開催しています。

元堀内小学校長の 菊地將光さんへ高齢者叙勲



4月17日、高齢者叙勲の伝達式が行われ、菊地將光さん（新庄市）へ瑞宝双光章が授与され、ご家族の方が受領しました。この勲章は、公共的な業務へ長年従事し功績を挙げた方を表彰するもので、菊地さんの長年の教育への貢献を称え、年齢88歳を迎えた機会に授与されました。

最上小国川集中 クリーンアップ大作戦



5月8日、県、舟形町、最上町、小国川漁業協同組合などから組織される最上小国川清流未来振興機構（会長 悪七幸喜さん）と山形県建設業協会最上支部（支部長 柿崎和朗さん）のみなさんが環境美化のため、ボランティアで最上町から舟形町にかけて最上小国川のごみ拾いを行いました。

フィールドラーニングー 共生の森もがみ



5月16日から17日、山形大学の授業で「フィールドラーニングー共生の森もがみ」が堀内地区で行われました。これは、農業体験などをとおして「里地里山の再生」を考える取り組みです。参加した大学生は、「普段はできない貴重な経験をすることができた」などと話していました。

第1回まちづくり審議会



5月14日、中央公民館で第1回まちづくり審議会（会長 沼沢龍さん）が開催されました。これは、町民の声を生かした政策推進などを目的に設置されているもので、今年度の町からの諮問事項である「町内事業者への戦略的な支援策」について1年間、調査・審議を行なっていきます。

東北農林専門職大学 新入生歓迎会



4月28日、交流施設「ふなぼん」で東北農林専門職大学の新入生を対象に歓迎会が行われました。当日は自己紹介のアイスブレイクが行われた後、旬の山菜の天ぷらやたけのこ汁、こみのおひたしなどが振舞われました。参加した新入生は、地域の方の手で春の味覚がたっぷり詰まった料理を味わいました。参加した大学生は、「地域の手づくり料理がおいしかった」「会話が弾み、楽しい時間を過ごすことができました」などと話していました。新しい仲間との交流も深まり、にぎやかな会になりました。

第1回町内会長会議



4月24日、中央公民館で第1回町内会長会議が開催されました。この会議は、地域と行政が情報共有や意見交換を行うことで、より良い地域づくりや地域課題の把握と解決に繋げていくことを目的に開催するものです。会議では、主な事業のお知らせや町内会に關わる補助金についての説明などが行われ、今年度の町の体制が示されました。あわせて、導入予定の「町内会アプリ」の説明も行われました。このアプリでは、お知らせの配信や行事予定カレンダーなどの機能の活用が予定されています。

ほほえみ保育園 じゃがいも定植



5月8日、園児たちがじゃがいもの定植を体験。秋の収穫を楽しみにしながら取り組みました。

農業の担い手 認定農業者が一同に



4月23日、舟形町認定農業者協議会総会が舟形若あゆ温泉で行われ、31名が出席しました。

町民生児童委員協議会 小・中学校あいさつ運動



5月12日、舟形小・中学校であいさつ運動が実施されました。みなさんの安全安心のため活動します。

交通事故に 遭わないために



5月14日、かもしかクラブ発会式が開催されました。1年間、交通ルールを学んでいきます。

ティーボール大会で 舟形・新庄合同チーム優勝



5月6日、第16回新庄最上地区ティーボール大会が開催され、舟形・新庄合同チームが優勝しました。

新入生バスツアー 舟形マッシュルーム見学



4月18日、東北農林専門職大学のバスツアーで、新入生が舟形マッシュルームなどを見学しました。

町職員のごき

町職員は日々の業務のみでなく、プロジェクトチームなどとおして課題解決に取り組んでいます。町職員の取り組みをピックアップして紹介します。

東北農林専門職大学市町村PRイベント



4月21日、東北農林専門職大学で、最上8市町村の交流促進を図るため、学生に魅力をPRするイベントが行われました。

当日は、まちづくり課長の曾根田健ほか2名の職員が参加。図書館前に観光情報や町の文化、国宝土偶「縄文の女神」をPRするブースを設置したほか、講堂では町職員によりイベントや学生支援について発表が行われました。

最上地域政策研究所第8期研究員辞令交付式



4月23日、最上総合支庁で最上地域政策研究所第8期研究員辞令交付式が行われました。この取り組みは、最上地域の課題について市町村職員と最上総合支庁の職員が調査研究することで、政策形成能力の向上を目指すものです。

第8期では「多様な担い手との共創で最上を元気に!!」をテーマに佐藤大輝（まちづくり課企画調整係）が政策研究に取組みます。

舟形中学校移転新築検討委員会の活動を紹介しします

現在の舟形中学校の校舎は、昭和58年に建築されてから42年が経過し、建物や設備の老朽化などが進み、また、教育内容の変化などへの対応が難しくなっています。町では、舟形町第7次総合発展計画において進めている教育環境の整備に基づき、舟形中学校移転新築検討委員会（会長 八鍬幸仁さん）を設置し、検討を進めています。今回は、現在までの検討委員会の活動を紹介します。

▼問い合わせ／舟形町教育課学事係 ☎(32)2379

第3回検討委員会（11月18日）



第3回検討委員会では、「教育を核とした人口対策」についてのワークショップを実施し、「居心地のいい学びの場」と「学校と地域社会の連携」という2つのテーマを協議しました。

協議では学校の環境について、生徒の主体性と快適性を軸に、地域コミュニティの核と位置づけて多世代が交流できる施設にしてほしいなどの提案がありました。

第4回検討委員会（2月24日）



第4回検討委員会では、五城目小学校（秋田県）視察報告と検討結果の中間とりまとめを実施しました。

討議では、検討委員会を来年度も継続し、現状の議論を町民全体に広め、合意形成のプロセスをさらに深めていくことや、検討内容のさらなる周知や基本構想の深化を進めていくことが話し合われました。

まちかど掲示板

まちの話題、疑問、質問、提言、意見のほか、会員募集やイラストなど何でも結構です。広報紙上でできるだけ紹介します。



まちづくり課 企画調整係

☎(32)0104

✉ kikakupr@town.funagata.yamagata.jp



【問い合わせQR】

お知らせ 経済センサス活動調査への ご協力をお願いします

全国の事業所・企業の経済活動を調査する「令和8年経済センサス活動調査」にご協力をお願いします。

▼調査期日／令和8年6月1日現在

▼調査対象／全国すべての事業所・企業

▼調査内容／名称、所在地、経営組織など基本的な項目に加えて、事業内容、売上・費用、設備投資など経済活動について

▼調査方法

○インターネット回答用の書類送付

令和3年調査などで把握されている事業所などに、4月ころから調査票などを郵送しています。

○調査員による調査

事業所の活動状況などを確認のうえ、5月31日までに調査票などをお届けします。

○国による直轄調査

国が企業の本社あてに、傘下の事業所を含めた調査票を、5月31日までに一括で郵送します。

▼その他

インターネット回答をお願いします。

紙の調査票による提出を希望した事業所、またはインターネット回答が確認できなかった事業所については、6月1日から調査員が訪問のうえ、調査票の回収と確認を行います。

▼問い合わせ／舟形町総務課管財係
☎(32)2111（内線242）

農業振興課よりお知らせ

令和7年度 事業実績の報告

<多面的機能支払交付金事業>

【目的】地域の共同活動を支援し、耕作放棄地の発生を防止、農業の有する多面的機能の維持・発揮を図る。

【事業主体】野地域保全会ほか16保全会

【取組面積】田 786ha、畑 2ha

【対象期間】令和7年度～11年度（5年間）

【事業費】令和7年度分 30,371,450円（国1/2、県1/4、町1/4）

【成果】地域ぐるみで農地などの維持と地域資源の質的向上のための共同活動を推進することで耕作放棄地発生防止、農地の多面的機能を発揮することができました。



<中山間地域等直接支払交付金事業>

【目的】条件不利の中山間地域において、担い手育成による農業生産の維持を通じて多面的機能を確保する。

【事業主体】長尾前集落協定ほか15集落協定

【取組面積】急傾斜地 151ha、緩傾斜地 196ha

【対象期間】令和7年度～11年度（5年間）

【事業費】令和7年度分 46,728,265円（国1/2、県1/4、町1/4）

【成果】集落協定ごとの取組を行うことで、中山間地域全体の水田の維持、多面的機能の発揮することができました。

▼問い合わせ／舟形町農業振興課農業振興係 ☎(32)0947

新刊書の紹介

(舟形町中央公民館図書室)

みんないっちゃった
 作/エーヴァ・リンドストロム
 訳/菱木 見子



友達の輪に加わることができない少年フランク。家に帰ると、悲しくて涙が流れます。その涙を使って、マーマレードをつくる毎日でしたが、今日はいつもとちよっと違いました。

イン・ザ・メガチャーチ

著/朝井 リョウ



アイドルグループの運営に参画することになった男。積み重なる心労を癒やしたい大学生。舞台俳優を応援していたが、とある報道で状況が一変する女。ファンダム経済を取り巻く世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす物語の功罪をあぶり出す。

図書室にない本も借りることができます

お探しの本がない場合、町中央公民館をとおして山形県立図書館の資料を借りることができます。詳しくはご相談ください。

町中央公民館図書室
 蔵書数 8,187冊
 (令和8年5月時点)

農と食と健康と vol.2

今回は、自分で育て、食べる楽しみをとおして、食への関心を高めることを紹介します。

舟形町食育・地産地消推進計画

○「食育」という言葉も意味も知っている人
 目標 70% (20歳以上)

「プランターでつくるリーフレタス」

- ▼用意するもの／プランター
- ・リーフレタスの種
- ・野菜用培養土
- ▼種まきの目安／5月ごろ
- ▼栽培場所／日あたりが良く、風とおしの良い場所
- ▼栽培方法／プランターの底に石を入れて水はけを良くしてから培養土を入れる。
- ・種は糸まきかばらまきで薄くまく。種に土を5mm程度かぶせ、軽く押さえる。土が乾かないように優しく水をかける。
- ・発芽後、本葉が2〜3枚になったら、株間が10〜15cmになるように間引く。
- ・水やりは表面が乾いたらたっぷり与える。



6月のまんなさへの市

▼日時／6月13日(土) 午前9時30分

▼問い合わせ／食育・地産地消推進委員会事務局
 ☎(32)0947

◆◆舟形文芸ひろば◆◆

短歌

本年ははずこの花も見ごとと妻の説明われは聞く
 われは百才なるぞと比較す物ではなきものなるに
 木瓜の花の会 佐藤和夫(西 堀)

千風会【五月雨、小動物】
 愛犬と散歩の川辺五月雨で
 若柳ぬれさやぐ若葉風
 千風会 森 ひろ子(新庄市)

ねこやなぎ小国の川のせせらぎに
 ふくらみゆらぎかたらひてゐる
 千風会 森 勝広(舟形第四)

穀雨かな田植への時期をしらしむる
 ひろぐ蛙の鳴く音とともに
 千風会 小野光子(真木野)

ひざ病むや階段下りるわれ見上げ
 一段ごと気使う愛猫の瞳
 千風会 沼澤 千鶴子(鶴陽(舟形第四))

親どりを待ちいるヒナに若葉風
 千風会 小野光子(光風(真木野))

二十二戈チャッピ(愛猫の名)わが世の日向ぼこ
 千風会 沼澤 千鶴子(千岳(舟形第四))

全国民まどわす「二転三転」演説あわれ大統領
 千風会 森 ひろ子(弘風(新庄市))

戦争とは欲にはまりし指導者の罪なり
 千風会 森 勝広(勝風(舟形第四))

舟形まんぶく物語 第49話

今回は、毎日おいしい給食をつくるってくださる調理員さんをご紹介します。

保育園では今年度から米飯の提供をスタートし、調理員のみなさんは、離乳食からアレルギー対応まで一人ひとりに寄り添った給食づくりを大切にしています。

小・中学校の調理員のみなさんは、日々の調理に加え、栄養教諭や町担当者とともに毎月の「献立検討会」を行なっています。町産食材の活用や郷土料理の導入など、子どもの健康を願う活発な意見交換から、自慢の献立が生まれます。



調理員のみなさん

毎日の給食メニューはコチラ

▼問い合わせ／舟形町教育課字係

☎(32)2379

この事業は、ふるさと納税を活用しています



俳句

仰ぎ見るまたふりかえる朝桜
 長沢俳句会 大場 小夜子(内 山)

初蕨包丁いらすの醤油漬け
 長沢俳句会 佐藤 昭子(長沢第二)

山なみに浮く雲白き花日和
 長沢俳句会 柏木 伸子(長沢第三)

陸奥やめくるめくこと花のワルツ
 長沢俳句会 高橋 ふき子(長沢第三)

久かたの集う仲間や桜の中
 四季倶楽部 真見 七生(舟形第四)

青草の辺りちらほら小花かな
 四季倶楽部 岸 麻理子(光生園)

風薫る野山目指して影ふたつ
 四季倶楽部 五島 健(光生園)

新緑や窓辺であくび子猫かな
 四季倶楽部 奥山 早知子(光生園)

ああ暑い一緒に走った落葉道
 四季倶楽部 伊藤 貴子(光生園)

褒めあつていいとこづくし嵐なり
 四季倶楽部 高橋 理恵(光生園)

持ち寄りの花見弁当山の幸
 興 珠子(野)

噴水や譲り合い座す人と鳩
 井上 淳子(ローマ市)

当季三つ物連句
 愛猫のいさゝか太り夏隣る
 炊き込み飯の五加摘む朝
 読みさしの老軀トリセツなぞるらん
 北陽社 井上 玲虹(野)

付合い句
 初恋は不老の点滴薫る風
 知足の余生万景ゆるる
 興 桃月(野)
 井上 玲虹(野)

二十歳の祝賀式を迎えます！ カメラアングル



野尻 妃花莉さん(洲崎)

- ▼現在のあなたは？
- 同窓会で話そう
- ▼自分を一言で言っと？
- 心から楽しいことが好き
- ▼夢は？
- バンド、YouTuber、自営業
- ▼趣味は？
- 遊ぶこと
- ▼舟形町の良いところは？
- 名前がかっこいい
- ▼10年後の舟形町は？
- もっと暖かい場所
- ▼尊敬する人
- じいちゃん、ばば、ばば、ママ
- ▼祝賀式を迎えるにあたって一言
- みんな、タイムカプセル忘れてないよね。
- 早く会いたいよー！

6月の納期 ※6月30日まで忘れずに納付しましょう。
 ●町県民税 第1期

○3月のタバコ税は 2,603,955円
 ○6月の舟形若あゆ温泉の休館日は 10日(水)

人口と世帯 (4/30現在)
 男：2,223人 (+4)
 女：2,263人 (±0)
 計：4,486人 (+4)
 世帯：1,824世帯 (+7)
 ()は前月比

選挙人名簿登録者数 (3/1現在)
 男：1,982人
 女：2,046人
 計：4,028人

山形ふるさとCM大賞 アイデア募集



「舟形町の魅力」を伝える「山形ふるさとCM大賞」のアイデアを募集します。
「縄文の女神」をテーマに、町の魅力をPRしてみませんか。

▼応募資格／町内在住または町内出身の方

▼募集内容／町の魅力を15秒で表現する「縄文の女神」をテーマにしたCMのアイデア

▼応募方法／電話、メールなど

▼お 切／6月30日（火）

▼そ の 他／アイデアを採用させていただいた方には別途連絡します。

▼応募・問い合わせ／舟形町まちづくり課企画調整係 ☎(32)0104

令和7年度応募作品「女神が見守る町 舟形町」



※アイデアの応募については
右のQRコードから



舟形町ホームページ
メールフォーム

※これまでの応募作品については
右のQRコードから



山形ふるさとCM大賞
ホームページ

6月の主な行事予定

- 13・14日 地区中体連総体前期
- 20・21日 地区中体連総体後期
- 23日 農業用使用済プラスチック類回収
(福祉避難所「てとて」)
- 28日 「きれいな川で住みよいふるさと」運動
河川一斉清掃 (最上小国川流域ほか)

あとがき
post script

ゴールデンウィークに久しぶりに友人と会った時、お土産として鮎やマッシュルームの加工品を持っていったところ、「おいしい」とたいへん好評でした。町の特産品を喜んでもらえると、なんだかうれしい気持ちになりますね。
風が強く肌寒かった5月初めから、春の日差しが暑さを増しつつあります。本格的な夏の訪れに向けて、体調管理に気を付けて過ごしましょう。
(だい)

